

様式第2号（第7条関係）

年 月 日

（宛先）高松市長

届出者 住 所

氏 名（法人にあつては、その名称）  
及び代表者氏名

指 定 施 設 設 置 変 更 届 出 書

高松市公害防止条例第8条の規定により、指定施設について次のとおり届けます。

工場等の名称				
工場等の所在地	高松市	町	丁目	番 号 番地
設置（予定）日	年 月 日			
指定施設の分類	ば い 煙	粉 じ ん	騒 音	地 盤 沈 下
指定施設の種類及び数量				
指定施設の構造	別紙1及び別紙2のとおり	別紙3から別紙6までのとおり	別紙7のとおり	別紙8のとおり
指定施設の使用及び管理の方法等				
※ 整理番号		※ 受 理	年 月 日	※ 審査結果

備考

- 1 届出書の提出部数は2部とすること。
- 2 指定施設の分類の欄に該当する項目を○で囲むこと。
- 3 変更届の場合は、変更前を青色又は黒色、変更後を赤色で対照すること。
- 4 ※印の欄は記載しないこと。

## 別紙1

## ばい煙発生施設の構造

指 定 施 設 番 号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 日		年 月 日	年 月 日
着 手 ( 予 定 ) 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 ( 予 定 ) 日		年 月 日	年 月 日
規	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 ( $m^2$ )		
模	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼 却 能 力 (kg/h)		

## 備考

- 1 設置届出の場合には着手（予定）日及び使用開始（予定）日の欄に、変更届出の場合には設置日、着手（予定）日及び使用開始（予定）日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、高松市公害防止条例施行規則別表第3 A欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。

## 別紙2

## ばい煙発生施設及び処理施設の使用の方法

指 定 施 設 番 号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		時～ 時 月／ 日
	季 節 変 動		
原 材 料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種 類		
	使 用 割 合		
	原材料中の成分割合(%)		カドミウム分 鉛 分 フ 素 分
	1 日 の 使 用 量		カドミウム分 鉛 分 フ 素 分
燃 料 又 は 電 力	種 類		
	燃料中の成分割合(%)		灰 分
	発 熱 量		
	通常の使用量 (L/h)		
	混 焼 割 合		
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		湿 り	最大 通常
		乾 き	最大 通常
ばい煙濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )		最大 通常
処理施設の処理能力	排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)		最 大
			通 常
	ばい煙濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	処理前
			処理後
参考事項			

## 備考

- 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ばい煙濃度は、乾きガス濃度とすること。
- 4 ばい煙濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。
- 6 ばい煙処理施設の構造図を添付すること。

別紙 3

粉じんに係る指定施設（金属加工用ブラスト、打綿機及び  
混打綿機）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号				
名 称 及 び 型 式				
規 模	原動機の定格出力 (KW)			
	処理能力 (t/時間)			
通常の月間処理量 (t/月)				
使 用 及 び 管 理 の 方 法	指定施設が設置されて いる建物の概要			
	集 じん 機	種 類 、 型 式		
		集じん効率 (%)		
		原 動 機 出 力 (KW)		
	防じんカバーの設置 状況			
	密 閉 施 設 の 状 況			
	そ の 他 の 方 法			

備考 その他の方法の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙4

粉じんに係る指定施設（集じん装置）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号			
名 称 及 び 型 式			
集 じ ん 物 の 種 類			
湿 式 、 乾 式 の 別		湿 式    乾 式	湿 式    乾 式
規 模	原動機出力（KW）		
	集じん効率（%）		
	集じん能力（t/日）		
設 置	場                    所	屋 外    屋 内	屋 外    屋 内
	場所の高さ（地上m）		
使 用 及 び 管 理 の 方 法	防 じ ん 施 設 の 設 置 状 況		
	集じん物の処理状況		

備考 湿式、乾式の別及び設置場所の欄については、該当する項目を○で囲むこと。

別紙5

粉じんに係る指定施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号			
名 称 及 び 型 式			
規	ベルト幅 (cm) 又はバケット内容積 (m <sup>3</sup> )		
	単 基 の 長 さ (m) × 基 数		
模	ベルト又はバケットの速度 (m/分)		
	運 搬 能 力 (t/時間)		
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/月)			
使	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	用 及 び	種 類 、 型 式	
集 じ ん 効 率 (%)			
原 動 機 出 力 (KW)			
管 理 の	散 水 設 備	装 置 の 種 類 、 型 式	
		装 置 の 能 力 (m <sup>3</sup> /時間)	
		運搬量当たり散水量 (m <sup>3</sup> /時間)	
方 法	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況		
	そ の 他 の 方 法		

備考 その他の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙6

粉じんに係る指定施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号			
名 称 及 び 型 式			
規 模	面 積 (㎡)		
	堆 積 能 力 (t)		
堆積場の種類、性状及び通常の間延べ堆積量 (t/年)			
使 用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		
	散 水	装置の種類、型式、基数	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /時間)	
		散水の方法	
	防じんカバーの設置状況		
	薬 液 散 布	薬液の種類、名称	
		装置の種類、型式、基数	
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /時間)	
		散布の方法	
	締 固 め	装置の種類、型式	
方 法			
そ の 他 の 方 法			

備考

- 1 散水、薬剤散布及び締固めの欄については、実施の量、実施の頻度等を記載すること。
- 2 その他の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙 7

騒音に係る指定施設の種類ごとの数等

指定施設の種類			型式	公称能力 (KW)	数	使用時間	
施設番号	記号	名称				開始 (時分)	終了 (時分)

騒音防止の方法

工場等建物の構造						塀の構造	
	壁	屋根	窓	扉	床	材質	
材質						長さ (m)	
高さ (mm)						高さ (m)	
						厚さ (cm)	

備考 指定施設の種類の欄には、高松市公害防止条例施行規則別表第2に掲げる施設番号、記号及び名称を記載すること。



## 地盤沈下に係る指定施設の種類、数等

指 定 施 設 番 号			
井 戸	さ く 井 (年月日)	年 月 日	年 月 日
	深 度 (地表面下m)		
	口 径 (cm)		
	ストレーナの位置 (地表面下m)		
揚 水 機	種 類 、 名 称 、 型 式		
	原 動 機 の 出 力 (KW)		
	吐 出 口 の 断 面 積 (cm <sup>2</sup> )		
	揚 水 能 力 (m <sup>3</sup> /時間)		
揚 水 状 況	1 日 の 揚 水 時 間	時 ~ 時	時 ~ 時
	1 か 月 間 の 揚 水 日 数 (日)		
	1 日 平 均 の 揚 水 量 (m <sup>3</sup> )		
	季 節 の 変 動		
用 途 別 使 用 量	(m <sup>3</sup> /日)		
	(m <sup>3</sup> /日)		
	(m <sup>3</sup> /日)		
	(m <sup>3</sup> /日)		
地 下 水 位	静 止 水 位 (地表面下m)		
	揚 水 水 位 (地表面下m)		

## 備考

- 1 季節の変動がある場合は、揚水の期間を記載すること。
- 2 用途別使用量は、具体的に記載すること。
- 3 用途別使用量が2以上ある場合は、その合計量が1日平均の揚水量と一致すること。